

ウェルネオシュガー株式会社

サステナビリティ報告書 2023

Sustainability Report 2023



日新製糖と伊藤忠製糖の経営統合

“Well-being” (幸せ・健康) を実現する製糖業界のリーディングカンパニーを目指す

日新製糖と伊藤忠製糖は2023年1月1日付で経営統合を行い、ウェルネオシュガーを持株会社とする新たなグループ体制が発足いたしました。2024年10月1日には、ウェルネオシュガーを存続会社とする吸収合併を予定しております。日新製糖・伊藤忠製糖の両社は、日本の精製糖業界における主要プレーヤーとして、生活必需品である砂糖を長年に亘り品質と安全性にこだわり安定供給するとともに、沖縄・鹿児島ของサトウキビを原料とする製糖事業および国産糖(甜菜糖・甘蔗糖)の調達を通じ、各地の原料生産者・糖業関係者の皆様とともに発展することで、農業の活性化、環境保全、地域経済の発展に貢献してまいりました。加えて、消費者の皆様の健康に資する機能性素材の開発・商品化を進め、新たな付加価値を提供することで、健康的な生活や豊かな食文化の形成にも寄与してまいりました。

近年、人口減少、低甘味・低カロリー嗜好による砂糖代替品の台頭および原材料・エネルギーコストの高騰等、不透明かつ厳しさが増す事業環境となっておりますが、両社が保有する知見やリソースを結集し、経営基盤の強化と新たな事業領域の拡大に拍車をかけ、一層の企業価値向上を図る所存です。あらゆる糖のチカラと可能性を切り拓き、“Well-being” (幸せ・健康) を実現する製糖業界のリーディングカンパニーを目指してまいります。

経営理念

●コーポレートメッセージ

心と体に「いいね」を ウェルネオシュガー

「糖」が分解されるときに生まれるエネルギーが、脳やカラダを動かす力となります。
「糖」は、誰かの生きる力となっています。
その力をもっと高めていきたい。誰かの“より良く生きる”の力になりたい。
“人々の“Well-being”に貢献していきたい。”
これから何をしていくべきかを考え、導き出した答えです。
私たちウェルネオシュガーは、製糖事業で培ってきたことを活かし、
食と健康で人々の“より良く生きる”に貢献していきます。
心と体に「いいね」を、ウェルネオシュガーです。

●パーパス&バリュー

以下のパーパス&バリューを軸に
すべての事業活動を通じて、より良い社会づくりに貢献してまいります。

Purpose ■ 存在意義

糖のチカラと可能性を切り拓き “Well-being” を実現する

Values ■ 価値観

挑 戦 常に若々しく、自ら高い志を掲げ日々新たに挑戦し続けます

多 様 性 多様な価値観を受容し、個々の違いや個性を強みとしつつ、
一体感を持った組織であり続けます

持 続 可 能 性 責任ある事業活動で、持続可能な社会の実現に貢献し続けます

ウェルネオシュガーグループの事業内容

砂糖その他食品事業

主に以下の各製品および原材料等の製造、加工、仕入ならびに販売を行っています。

- 砂糖および糖質、健康食品、サプリメント、食用純金箔、可食フィルム、その他の食品
- 食品添加物
- 医療品原料、医薬部外品

健康産業事業

主に以下のフィットネスクラブを運営しています。

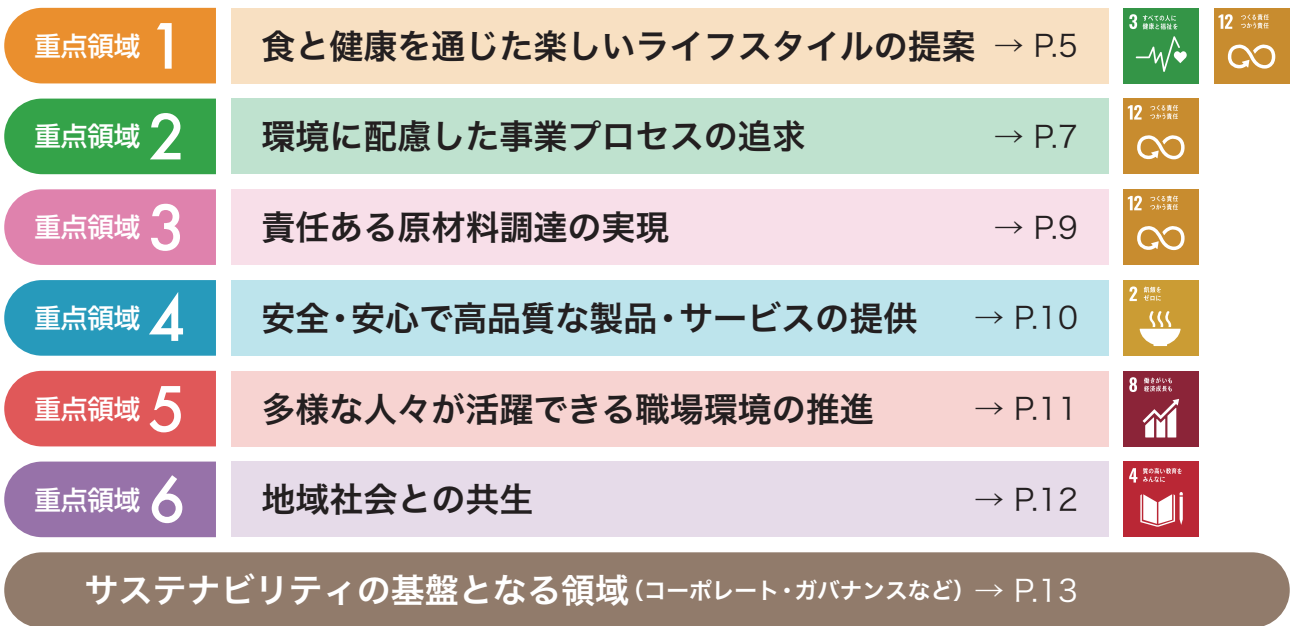
- 総合フィットネスクラブ
- 女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ
- コンパクトジム

倉庫事業

主に冷蔵倉庫を保有し、保管・荷役・港湾運送業務を行っています。

ウェルネオシュガーグループのサステナビリティ基本方針

ウェルネオシュガーグループは、サステナビリティの推進は経営品質の向上に繋がると考えており、国連SDGs (持続可能な開発目標) の目標年度である2030年における当社の「ありたい姿」を6つの重点領域として定め、取り組んでいます。



ウェルネオシュガーグループのバリューチェーン



「Sugar軸」と「Food & Wellness軸」で Well-being (幸せ・健康) の実現を目指す

現在、ウェルネオシュガーグループでは、主要事業会社の日新製糖が2020年度にスタートさせたCSR 5カ年中期目標をベースにサステナビリティに関する課題に取り組んでいますが、今後はウェルネオシュガーのサステナビリティ推進委員会が各事業会社の関連部署や委員会等と緊密に連携して、当社のサステナビリティ基本方針と一体となったサステナビリティ経営を推進していきます。

具体的には、ウェルネオシュガーのバリューである「挑戦」、「多様性」、「持続可能性」を基本的な価値観に据え、企業の社会的責任を果たしていくことはもちろんのこと、人的資本への投資やダイバーシティへの取り組みを強化しながら、環境・経済・社会の課題解決と事業による経済的価値の創造の両立、すなわちCSV (社会と企業の共通価値の創造) の実現を意識した活動を通じて、自社と社会の持続的な発展を目指し、社会から認められるサステナブルな企業として中長期的な企業価値向上に努めていきます。

また、投資家との建設的な対話を推進する観点から、サステナビリティに関する情報開示を行っていきます。なお、気候変動に係るリスクおよび収益機会がウェルネオシュガーグループの事業活動や収益等に与える影響については、必要なデータの収集と分析を行い、TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の枠組みに沿った開示を行っていきます。

ウェルネオシュガーグループを取り巻く経営環境は、2024年10月の完全統合を前に大きな変革期を迎えていますが、引き続きESGの観点によってグループ全体の事業活動を強力にリードするとともに、CSVを意識したサステナブルな事業活動を推進することで、ステークホルダーの皆様からのご期待、ご要望にお応えしていきたいと思っております。



ウェルネオシュガー株式会社
代表取締役社長 山本 貢司

ウェルネオシュガー データ

5カ年中期目標 (2020年度～2024年度)

重点領域 ～ありたい姿～	長期目標 [2030年度]	中期計画 [2024年度まで]
1. 食と健康を通じた楽しいライフスタイルの提案 ～砂糖を軸とした「食」と「健康」で楽しいライフスタイルを提案する会社～	●砂糖等に関する理解を広める	●砂糖等に関する情報発信の促進
	●多様なニーズを満たす	●課題解決型の商品開発および商品改良 ●研究の推進
2. 環境に配慮した事業プロセスの追求 ～製糖業界で環境に最も配慮した事業を営む会社～	●環境マネジメントプロセスの確立	●環境方針の策定と開示 ●環境負荷低減目標の設定と運用
	●気候変動対策	●2024年までにCO2排出量5%低減 (2019年度対比・Scope1、2において) ●バリューチェーンにおけるCO2排出量の削減
	●水の有効利用の継続	●水の有効利用の継続
	●資源の有効利用	●廃棄製品数の削減につながる取り組み実施 ●石油原料使用量の削減 ●プラスチック資材の削減 ●紙使用量の削減
	●環境に関する意識向上	●グリーン購入の拡大 ●従業員に対する環境教育の実施
3. 責任ある原材料調達の実現 ～生産者にも配慮をして原材料の調達に責任を持つ会社～	●責任ある原材料調達	●調達基本方針の策定と開示 ●調達先基準の策定と開示 ●調達先に対するモニタリングおよび働きかけ
	●持続可能な農業に向けた支援	●持続可能な農業に向けた生産者支援
4. 安全・安心で高品質な製品・サービスの提供 ～すべてのお客様に満足いただける品質の製品を提供する会社～	●安全・安心で高品質な製品を届ける	●品質管理体制の確立 ●製品の安全性確保のための措置継続
	●安定供給の取り組み	●安定供給のための仕組み整備
5. 多様な人々が活躍できる職場環境の推進 ～多様な人々が活躍できる職場環境を提供する会社～	●健康経営の推進	●健康経営優良法人の認定取得と維持 ●労働災害ゼロ ●メンタルヘルス確保のための環境整備 ●働きやすい職場環境整備
	●多様性と受容性のある職場づくり	●採用方針の策定と開示 ●多様な働き方体制の整備
	●能力開発の促進	●能力および知識向上機会場の整備・拡大
6. 地域社会との共生 ～地域社会と共生し、必要とされる会社～	●工場・オフィス拠点での地域との関わり合いを深める	●地域活動への参加
	●社会貢献活動	●社会的事業支援 ●被災地支援体制の整備 ●次世代育成支援の継続
サステナビリティの基盤となる領域	●コーポレート・ガバナンスおよびコンプライアンスの強化	●行動規範・行動指針の開示 ●内部通報制度の整備と改善 ●取引先からの通報窓口の整備
	●コミュニケーションと情報開示の推進	●コミュニケーションと情報開示の推進
	●人権の尊重	●人権方針の策定と開示 ●人権啓発研修の実施
	●リスクマネジメントの拡充	●情報セキュリティ体制の強化 ●気候変動によるリスク評価 ●知的財産保護体制の整備

食と健康を通じた 楽しい ライフスタイルの提案



砂糖は紀元前からの長い歴史を持ち、人々の食と健康を支える必需品として親しまれてきました。時代が変わり、消費者のライフスタイルが多様化しても、体内でエネルギー源として使われる砂糖は健康な体づくりに欠かすことはできません。

ウェルネオシュガーは、自然の恵みである砂糖の持つ優れた特性を活かし、様々な形で食品に使い続けていただけるよう提案していきます。

日新製糖

サイクロデキストランをPR

日新製糖のみが製造しているオーラルケア素材「サイクロデキストラン (CI)」の認知度向上を積極的に行っています。サイクロデキストランはグルコースが輪のようにつながった環状オリゴ糖で、オーラルケア効果を持つ機能性成分で砂糖を原料として作られます。最大の特徴は砂糖があっても歯垢の形成を阻害する機能があることです。虫歯菌が持つ“GTF酵素”の働きを阻害するので、糖の存在下でも虫歯や歯周病の原因となる歯垢の形成を抑制する機能があります。

食育活動を展開

日新製糖では、砂糖について正しい情報を伝える活動を通じて、砂糖に対する理解を深め、健康で豊かな生活を支える優れた食材として砂糖をお使いいただけるよう、様々な食育活動を行っています。その活動は、小学校での食育授業や高齢者を対象にしたフルーツビネガーづくりの教室など多岐にわたっています。

SUGAR LAB (シュガーラボ)

将来の大切なお客様でもあるお子様に、砂糖について正しく知っていただくとともに、料理の楽しさを伝える活動として、親子料理教室などの食育イベントを毎年実施しています。また、2019年には親子で楽しく砂糖について学べる食育サイト「SUGAR LAB (シュガーラボ)」を開設し、同サイトのコンテンツを体験していただくイベント「SUGAR LAB DAY」を実施しています。



クルルのおいしいレシピを展開

伊藤忠製糖では、消費者に料理をすることの楽しさや食べることの喜びを知っていただくために、ホームページにレシピサイト「クルルのおいしいレシピ」を展開しています。



藤田医科大学と共同研究講座開設

伊藤忠製糖では、藤田医科大学（愛知県豊明市）と連携し、腸内フローラ（腸内細菌叢）の働きと医学的治療を組み合わせた新治療法の開発に向けた共同研究講座「医科プレ・プロバイオティクス講座」を開設しています。

腸内フローラなどの細菌叢の乱れ（ディスバイオシス）が、人間の様々な疾病に関連してくることが数々の研究により明らかになっており、ディスバイオシスを改善するためのプレバイオティクスおよびプロバイオティクスの有効性について研究しています。

環境に配慮した 事業プロセスの追求

12

つくる責任
つかう責任

砂糖の製造においては、特に精製糖の製造プロセスで大量のエネルギーを必要とするため、省エネルギーや高効率の設備の導入は重要な課題です。また、砂糖は重く、流通量も多いため、効率のよい物流の実現が求められます。ウェルネオシュガーグループの活動が地球環境に与える影響を常に意識しながら、事業活動を行っていく必要があると認識しています。

ウェルネオシュガーでは、気候変動問題を注力すべき領域としており、その実践として、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に沿った情報開示を行っています。

シナリオ分析

- 気候変動（平均気温の変化）に伴う、製糖事業における想定されるリスクの洗い出し
- 気候変動リスク軽減への取り組み
- 気候変動リスク軽減を事業機会とするための取り組み

日新製糖

環境負荷低減に向けた以下の取り組みを行っています。

- 物流部門での共同配送におけるトラック台数の削減やリードタイムの見直し
- 今福工場における運河と舢（はしけ）を使った原料糖の輸送
- 循環型社会の実現に向けた取り組み
 - 使用済みビート空袋のリサイクル（今福工場とリサイクル業者が連携し段ボール原紙として再生）
 - バガス（サトウキビの搾りかす）を燃焼させ発生させた電力を使って工場設備を稼働（新光糖業）

伊藤忠製糖

環境負荷低減に向けた以下の取り組みを行っています。

- 高効率濃縮装置（ヒートポンプ）の導入推進
- LED照明への切り替え推進
- 社有車のエコカー「ハイブリッド車」への切り替え
- 構内の作業車両のEV化

また、不要になったものを再利用する“リサイクル”だけではなく、資源を有効に循環させて使う“リユース”活動を推進しています。フレキシブルコンテナバッグ、樹脂パレットなどのリユースを次々と進め、環境にやさしい生産活動に努めています。



資源リサイクルパック

従来のクラフト紙は、内側にポリエチレンの袋が糊で装着されていたため、紙とポリエチレンとの分別が困難でしたが、それを容易に分別して処理できる新方式〈疑似接着袋〉を業界に先駆けて導入し2006年に特許取得。袋に印字するインクを油性から水性に切り替える等、リサイクルしやすい包材で商品を梱包しています。



責任ある 原材料調達の実現



ウェルネオシュガーグループが製造する砂糖は、粗糖と呼ばれる原料糖から作られます。

オーストラリアやタイなど海外から輸入する原料糖のほか、種子島や沖縄県のサトウキビ、北海道のてん菜（ビート）から作られる国内の原料糖も使用しています。このように、ウェルネオシュガーグループの事業は各地の農産物に支えられており、地域から信頼される企業を目指して活動しています。

サトウキビ原料糖の輸入

日新製糖および伊藤忠製糖は、総合商社を通じてオーストラリアなど海外からサトウキビ原料糖を輸入しています。サトウキビの生産は環境への負荷が小さく、収穫作業においては機械化が進み環境問題や労働問題に対する懸念は低くなっています。両社は、総合商社を通じて原料糖調達における必要な情報を収集しながらリスク分析を行い、パイヤーとしての社会的責任を果たしていきます。

責任ある原材料調達

原料糖や包装材料等の購買・調達において社会的責任を果たすべく「CSR調達方針」を定め、人権や環境にも配慮したサプライチェーンマネジメントを展開しています。サプライヤーには「サプライヤーCSR行動指針」を提示し、理解と協力を得るとともに、独自のアンケート調査を実施しながら持続可能な調達を推進していきます。

人権デューデリジェンスの実施

国連人権指導原則のひとつである「企業の人権尊重責任」を果たすべく、「人権方針」を定め、人権尊重に関する当社の考え方や行動原則をコミットメントとして日新製糖ホームページに公開しました。企業活動全般において企業自身が人に悪影響を与えるリスクを洗い出し、それらリスクの軽減策を追求し救済へのアクセスを探索していきます。

日新製糖は、Sedex (B会員) に加入しました。Sedexサプライヤー会員として「責任ある持続可能なビジネス」を目指し、Sedexのツールやサービスの利用を通じて、責任ある事業活動の改善に取り組んでいます。

< Sedexについて >

Sedex (Supplier Ethical Data Exchange) は、グローバルサプライチェーンにおけるエシカル（倫理的）で責任ある事業慣行の実現を目指し、エシカルなサプライチェーンデータを管理・共有する世界最大のプラットフォームを持つ会員制組織（非営利団体）です。

Sedex | Member



安全・安心で高品質な 製品・サービスの提供



ウエルネオシュガーグループで製造する砂糖は、原材料として国内外から調達した原料糖を使用しています。産地により色などの性状が異なる原料糖から常に同じ品質の砂糖を製造するために、工場徹底したプロセス管理を行うとともに、全社的な品質管理体制を整え、着実に取り組みを進めます。

日新製糖

提供する製品とサービスについての安全性の担保と品質の維持・向上を図ることを目的に「品質方針」を定めました。当方針にしたがって、今後も質の高い製品とサービスをお客様にお届けする使命に誇りを持ち、新たな技術や設備・機器の導入ならびに運用改善に向けた検討を積極的に行い、製品・サービスの更なる品質向上に日々努めていきます。

品質方針

- 法と社会規範を遵守し、自らの責任を持って製品とサービスを提供します。
企業を取り巻く社会環境の変化を的確に把握し、社内で情報共有しています。そのうえで社会的責任を果たすため、食品関連法令および業界団体の示す規格・基準を遵守しています。
- 製品の開発、生産、加工、販売および物流において、安全性の確保に努め、お客様の安全・安心を第一義とします。
製品の開発・製造から流通に至るまで、安全第一の品質保証を行うため、当社の品質関連部門担当者が、製造所、倉庫、運送会社に対し、定期的に査察を実施し、製品の安全性の確保に努めています。
- お客様目線で課題の解決を目指し、お客様の満足を得られる品質を目指します。
営業部門やお客様相談室に寄せられたお客様からの声に対して、品質部門をはじめ関連部門と組織横断的に情報を共有し、迅速な対応を行っています。社会とお客様のニーズに合った真摯な取り組みによってお客様の満足と信頼を獲得することで、広く社会に貢献していきます。
日新製糖は、質の高い製品とサービスをお客様にお届けする使命に誇りを持ち、新たな技術や設備・機器の導入ならびに運用改善に向けた検討を積極的に行い、製品・サービスの更なる品質向上に日々努めます。

認証取得

今福工場は国際規格のFSSC22000（食品安全マネジメント）の認証を取得しています。

伊藤忠製糖

認証取得

品質管理向上のため国際規格のISO9001（品質マネジメント）・FSSC22000（食品安全マネジメント）の認証を取得し、品質管理の徹底、継続的改善への取り組みにより、お客様にご満足いただける品質・サービスと安全・安心な商品の提供に努めています。

食品安全

- フードディフェンス強化のため、システムの導入や食品安全管理体制の整備を徹底しています。
- 敷地境界、工場構内に防犯カメラ、防犯センサーを設置
 - 常駐警備による入出場管理、不審者等への警戒、敷地内の監視・巡回
 - 原料糖の搬入から最終製品まで、人の手の触れることのない中央制御システムと24時間体制の監視



多様な人々が 活躍できる 職場環境の推進



ウェルネオシュガーグループでは、従業員が健やかに働き、高い生産性を発揮できるよう、会社として安全かつ働きやすい環境を整えることを重視しています。また、多様な人材が活躍できるよう、様々な制度や研修を整備し、従業員の成長を支援しています。

日新製糖

2019年12月の「健康経営宣言」に基づき、従業員の健康管理に有効かつ身近に健康を意識できる施策を実施しています。

健康維持管理

- 法定健康診断に加えて、以下の検査を実施
50歳以上・・・腹部エコー・眼底検査・PSA検査
35歳以上・・・便潜血検査・ABC検診（胃がんリスク検査）
- インフルエンザ予防接種
従業員には職場接種、被扶養家族には接種代金の補助
- レディース健診
- 家族（主婦）健診
- 春期、秋期ウォーキングキャンペーン（各100日間・1日平均8,000歩）
完歩賞として、目標達成者に記念品を進呈

ハラスメント対策

- セクシャルハラスメント防止規程、職場でのハラスメント対応方針および内部通報制度規程の制定、第三者機関等を窓口とする外部相談窓口を設置
- ハラスメントに関する定期的な教育を実施

テレワークの推進

新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、テレワーク制度を導入しましたが、働き方改革の推進および従業員のワークライフバランスの実現を目指して恒常的にテレワークが利用できるよう環境整備を進めています。

伊藤忠製糖

健康維持管理

- 脳ドック定期健診制度の導入
- 健康診断の定期的実施に加え、動脈硬化検査など検査項目を充実
- インフルエンザ予防接種、麻疹抗体検査および予防接種（入社時）
- 婦人科健診
- ストレスチェックおよびストレスやメンタルヘルスについて学習できるサービスの導入
- 食堂での健康米、乳製品などの提供や提供メニュー改善への取り組み

職場環境の改善

- 熱中症対策（経口補水液、炎熱飴、冷却剤の常備、ファンベスト支給）など作業環境の改善
- 社内表彰制度を設け従業員のモチベーション向上

地域社会との共生



ウェルネオシュガーグループは、行動規範で「環境との調和と社会貢献（まわりに優しい会社にする）」を掲げており、事業所や工場が立地する地域との関わりを大切にしています。地域行事や祭りに参加・協賛したり、従業員による工場周辺の清掃活動を定期的に行っているほか、災害時に地域を支援できるよう、災害備品の確保や、災害対策マニュアルの作成を行っています。

さらに、将来世代の育成・支援を目指し、様々な社会貢献活動を継続しています。

日新製糖

こども食堂支援

日新製糖では、2020年から一般社団法人全国食支援活動協力会を通じ、全国のこども食堂および地域食堂に当社製品を無償で提供し、その活動の支援を開始しました。砂糖の配送においては物流部と連携し、現行の物流網を活用し協力会の要請に応じた細かい配送を行っています。

地域の清掃活動

千葉工場および千葉物流センターでは、食品工業団地全体で定期的に行われる環境美化運動に参加しています。また今福工場では、工場に隣接する城北川遊歩道を定期的に清掃しています。

献血活動

今福工場では、大阪府赤十字血液センターの依頼を受け、職場での団体献血活動に協力しています。

伊藤忠製糖

伊藤忠製糖では、2022年度に以下の地域貢献活動を行いました。

- 碧南海浜水族館との相互協力事業（碧南市を楽しんでいただける仕組みの創出）への協力
- プロバスケットボールチーム、シーホース三河（2022-2023シーズン）のコーポレートパートナー、プロサッカークラブ名古屋グランパス主催の「鯨の大祭典」および地元開催のスポーツイベントに協賛するなど、スポーツ振興への協力
- 不用品を回収し世界各地で必要としている方々に寄付（リユース）し、「貧しい国の人々の暮らしを少しでも豊かに、多くの子どもたちに笑顔と明るい未来を届けたい」をコンセプトに発展途上国への支援を行う活動である「GIFT for SMILE」へ、従業員より提供のあったおもちゃ、衣類、靴等の寄付



さらに、上記活動とは別に以下の取り組みを行いました。

- 工場周辺の清掃活動を定期的に行う
- 社内で備蓄している災害用食品で、賞味期限の近くなった物をフードバンクに寄付
- 地域の自治体に所属し、地域との共生を行うとともに企業として地域活動に協力
- 碧南市と災害救助物資の緊急調達等に関する協定を締結

サステナビリティの基盤となる領域

コーポレート・ガバナンス

ウェルネオシュガーは、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等のステークホルダーから信頼、支持され続けるためには、中長期的な企業価値の向上に努めるとともに、社会的な責任を果たし、持続的な成長、発展を遂げていくことが重要であると認識し、これを実現するために、常に最良のコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組むことを基本方針としています。当社は、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を図るためには、公正で透明性の高い経営を実践するとともに、保有する経営資源を有効に活用し、経営環境の変化に迅速に対応し果敢な意思決定ができる組織体制を構築、維持することが重要であると考え、次に掲げる基本的な考え方に沿って、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

- ①株主の権利および平等性を確保します。
- ②ステークホルダーの利益を考慮し、それらステークホルダーと適切に協働します。
- ③会社情報を適切に開示し、透明性を確保します。
- ④取締役、監査役、独立役員それぞれの役割および責務を認識し、その実効化を図ります。
- ⑤中長期的な株主の利益と合致する投資方針を有する株主との間で建設的な対話を行います。

現在、取締役・取締役会と監査役・監査役会を中心とした体制を構築しており、取締役会において経営の重要な事項の審議・決定、職務執行状況の監督を行い、監査役会において代表取締役および業務執行取締役の職務の

遂行を監査することにより、経営監視機能の充実を図っています。

さらに、取締役9名のうち5名を社外取締役とし、またそのうち3名を独立社外取締役とすることにより、経営に多様な視点を取り入れるとともに、経営の透明性、公正性を向上させています。また、監査役4名のうち2名を公認会計士や弁護士などの専門的な知見を有する社外監査役にすることにより、独立した立場からの監査を確保し、監査機能の強化を図っています。

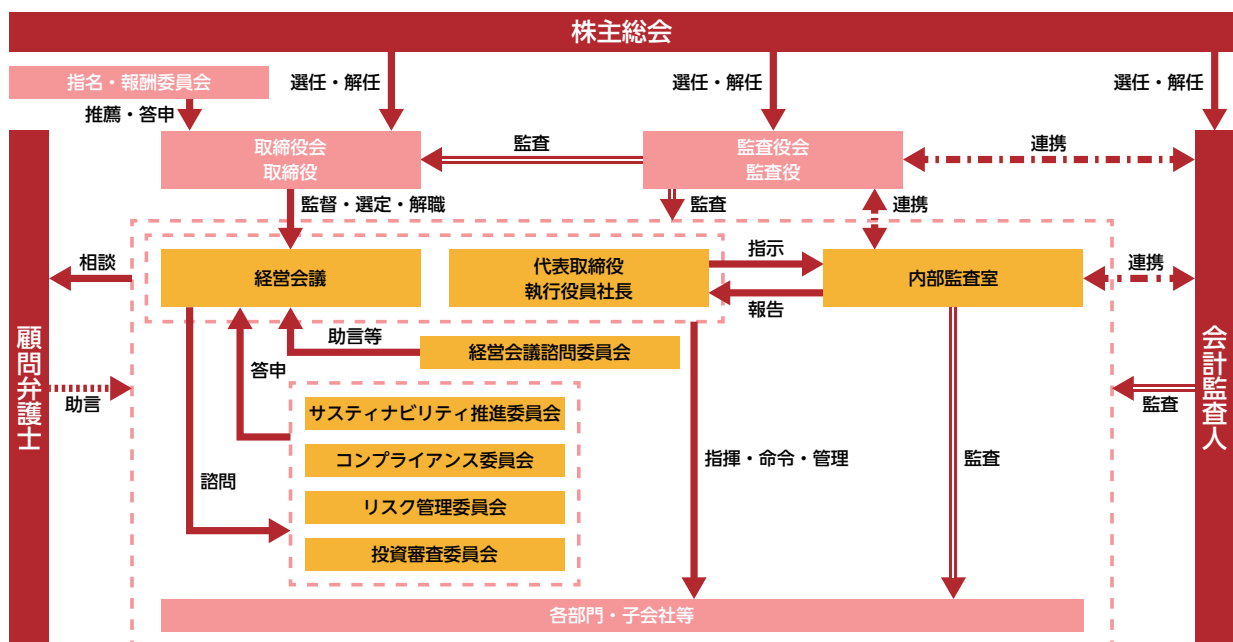
コンプライアンス

ウェルネオシュガーでは、取締役等および使用人の職務の遂行が法令および定款に適合することを確保するための体制の基礎として、「行動規範・行動指針」および「コンプライアンス規程」を定め、コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス体制の確立を図っています。また、内部監査により、コンプライアンスの状況の監査も行っています。

リスクマネジメント

ウェルネオシュガーでは、リスク管理体制の基礎となる「リスク管理規程」を定め、会社横断的なリスク管理のためのリスク管理委員会を設置し、個々のリスクについての管理担当部を定め、同規程に則ったリスク管理体制を確立しています。

●コーポレート・ガバナンス体系図



ウェルネオシュガー データ

*2021年度までは日新製糖の数字

指 標	2020年度	2021年度	2022年度
取締役会			
取締役数	6 人	6 人	9 人
社内	3 人	3 人	4 人
男性	3 人	3 人	4 人
女性	0 人	0 人	0 人
社外	3 人	3 人	5 人
男性	2 人	2 人	4 人
女性	1 人	1 人	1 人
取締役会開催回数	15 回	14 回	17 回

日新製糖 データ

指 標	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
エネルギー				
CO2排出量(合計)	15,368 t-CO2	16,907 t-CO2	16,138 t-CO2	全事業所
本社・千葉地区・営業所	353 t-CO2	352 t-CO2	361 t-CO2	
今福工場	15,015 t-CO2	16,555 t-CO2	15,777 t-CO2	
水資源				
使用量(計)	241 千㎡	261 千㎡	259 千㎡	今福工場
上水	42 千㎡	48 千㎡	51 千㎡	今福工場
工業用水	199 千㎡	213 千㎡	208 千㎡	今福工場
排出量(放流先:下水)	146 千㎡	153 千㎡	155 千㎡	今福工場
排出量				
廃棄物量	2,240 t	2,528 t	2,345 t	今福工場
埋立・焼却量	95 t	75 t	48 t	今福工場
廃棄物リサイクル率	95.7 %	97.0 %	97.9 %	今福工場
その他				
エコカー比率	91.4 %	97.0 %	97.0 %	全事業所

※ 上記CO2排出量は、日新製糖単体の自社排出(サプライチェーン排出量、Scope1、2)を集計したもので、その他の間接排出(Scope3)は含みません。

指 標	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
雇 用				
従業員数	252 人	260 人	259 人	
(うち臨時従業員数)	0 人	0 人	0 人	
平均年齢	43.9 歳	44.0 歳	43.8 歳	
平均勤続年数	19.4 年	19.3 年	19.0 年	
新卒採用人数(合計)	8 人	4 人	7 人	
新卒採用人数(男性)	6 人	4 人	5 人	
新卒採用人数(女性)	2 人	0 人	2 人	
新卒採用者定着率	77.8 %	100.0 %	87.5 %	入社3年後定着率
中途採用人数(合計)	9 人	9 人	3 人	
中途採用人数(男性)	7 人	7 人	1 人	
中途採用人数(女性)	2 人	2 人	2 人	
全体採用人数に対する中途採用人数の割合	52.9 %	69.2 %	30.0 %	※改正労働施策総合推進法対応
採用におけるコスト	18,761 千円	17,763 千円	4,533 千円	
離職率	2.4 %	0.8 %	0.8 %	定年退職、嘱託期間満了解嘱除く
多様性				
社員における女性の割合	24.6 %	24.6 %	24.3 %	
管理職社員における女性の割合	7.3 %	6.3 %	6.4 %	
定年再雇用率	88.9 %	70.0 %	100.0 %	
障がい者雇用率	2.18 %	2.63 %	2.31 %	
職場環境				
一般社員の実労働時間(年間)	1,947.7 時間	1,964.9 時間	1,953.6 時間	
一般社員の所定外時間労働(月平均)	20.1 時間	20.5 時間	19.3 時間	
有給休暇取得率	43.3 %	48.6 %	51.1 %	
育児休業取得者数(合計)	3 人	6 人	4 人	
育児休業取得者数(男性)	1 人	1 人	4 人	
育児休業取得者数(女性)	2 人	5 人	対象者なし	
育児短時間勤務者数	0 人	2 人	3 人	
教育・研修				
教育・研修費	7,444 千円	8,668 千円	8,842 千円	
教育・研修費(一人当たり)	30 千円	33 千円	34 千円	

伊藤忠製糖 データ

指 標	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
エネルギー				
CO2排出量(合計)	33,353 t-CO2	34,929 t-CO2	35,224 t-CO2	
本社(工場)	33,353 t-CO2	34,929 t-CO2	35,224 t-CO2	
水資源				
使用量(計)	507 千m ³	539 千m ³	549 千m ³	
上水	0 千m ³	0 千m ³	0 千m ³	
工業用水	507 千m ³	539 千m ³	549 千m ³	
排水量(放出先:海)	439 千m ³	449 千m ³	466 千m ³	
排出量				
廃棄物量	3,479 t	3,792 t	3,804 t	
埋立・焼却量	11 t	7 t	12 t	
廃棄物リサイクル率	98.2 %	98.4 %	98.0 %	
その他				
エコカー比率	58.3 %	58.3 %	36.4 %	

※ 上記CO2排出量は、伊藤忠製糖単体の自社排出(サプライチェーン排出量、Scope1、2)を集計したもので、その他の間接排出(Scope3)は含みません。
 ※ 上記排水は、衣浦ユーティリティで排水処理をした後、海に放流しています。

指 標	2020年度	2021年度	2022年度	備 考
雇 用				
従業員数	86 人	90 人	93 人	
(うち臨時従業員数)	0 人	0 人	0 人	
平均年齢	38.6 歳	38.5 歳	39.2 歳	
平均勤続年数	15.1 年	15.4 年	15.6 年	
新卒採用人数(合計)	3 人	4 人	2 人	
新卒採用人数(男性)	2 人	2 人	1 人	
新卒採用人数(女性)	1 人	2 人	1 人	
新卒採用者定着率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	入社3年後定着率
中途採用人数(合計)	1 人	2 人	1 人	
中途採用人数(男性)	0 人	1 人	1 人	
中途採用人数(女性)	1 人	1 人	0 人	
全体採用人数に対する中途採用人数の割合	25.0 %	33.3 %	33.3 %	※改正労働施策総合推進法対応
採用におけるコスト	2,643 千円	2,383 千円	583 千円	
離職率	3.4 %	0.0 %	0.0 %	定年退職、嘱託期間満了解除除く
多様性				
社員における女性の割合	27.9 %	30.0 %	30.1 %	
管理職社員における女性の割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
定年再雇用率	%	%	%	定年退職者なし
障がい者雇用率	2.02 %	2.00 %	0.99 %	
職場環境				
一般社員の実労働時間(年間)	1,950.0 時間	1,981.0 時間	1,980.0 時間	
一般社員の所定外時間労働(月平均)	10.6 時間	13.8 時間	14.4 時間	
有休休暇取得率	55.4 %	59.6 %	64.0 %	
育児休業取得者数(合計)	2 人	2 人	2 人	
育児休業取得者数(男性)	0 人	0 人	0 人	
育児休業取得者数(女性)	2 人	2 人	2 人	
育児短時間勤務者数	6 人	4 人	4 人	
教育・研修				
教育・研修費	2,420 千円	2,311 千円	1,251 千円	
教育・研修費(一人当たり)	28 千円	26 千円	13 千円	

会社概要

会社概要 2023年4月1日現在

商号	ウェルネオシュガー株式会社 WELLNEO SUGAR Co., Ltd.
本店所在地	〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル
代表者	代表取締役会長 仲野 真司 / 代表取締役社長 山本 貢司
設立	2011年10月3日 (2023年1月1日 日新製糖株式会社より商号変更)
事業内容	グループ経営管理事業等
資本金	70億円

グループ会社 (連結子会社)

社名	現住所	事業内容
日新製糖株式会社	〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル	砂糖その他食品の製造販売
伊藤忠製糖株式会社	〒447-8506 愛知県碧南市玉津浦町3番地	砂糖および機能性糖質、健康食品等の製品 ならびにその原材料の製造・加工、仕入れ 販売
第一糖業株式会社	〒883-0062 宮崎県日向市日知屋17371	精製糖の製造および販売
新豊食品株式会社	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港52	砂糖等の加工、包装
ツキオカフィルム製薬株式会社	〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ2-11	箔押加工、食用純金箔製造販売、可食フイルム (食品、医薬品、化粧品) 製造販売
日新サービス株式会社	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル	食品用包装材料、合成樹脂の仕入れ販売
シー・アンド・エス・サービス株式会社	〒447-0834 愛知県碧南市玉津浦町3番地 (伊藤忠製糖株式会社構内)	工場・事務所の清掃業、運送代行業、保険代理業、労働者派遣業その他
株式会社日新ウエルネス	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル	フィットネスクラブの運営等の健康産業事業、保険代理業
ニューポート産業株式会社	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港50	冷蔵倉庫業、港湾運送業

ウェルネオシュガーグループの事業拠点



[編集方針]

- ウェルネオシュガー株式会社／対象期間：2023年1月～3月（一部直近の活動を含みます）
- 日新製糖株式会社・伊藤忠製糖株式会社／対象期間：2022年4月～2023年3月（一部直近の活動を含みます）

ウェルネオシュガー株式会社

<本報告書に関するお問い合わせ先>

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1

日新製糖株式会社

TEL 03-3668-1120 (人事部)